

# 2020年11月の天候（山形県）

## 目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位値更新
- 7 その他

## 山形地方気象台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

F A X 023-633-0620

### [注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田、新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

## 1 天候経過（2020年11月）

### 【今月の特徴】

#### ○高温

- ・19日に酒田、鶴岡、鼠ヶ関、浜中で日最高気温の高い方から11月として第1位を更新した。
- ・29日に山形で、平年より13日遅い初雪を観測した。

### 【概況】

#### 月

上旬と下旬は、前線や気圧の谷通過後に冬型の気圧配置となったため、曇りや雨の日が多く、庄内や最上、置賜では、大雨となった日もあった。また、寒気が流入して、山沿いを中心に雪となった日があった。中旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多く、気温も高くなり、庄内を中心に記録的な高温となった日もあった。

月平均気温は高く、庄内ではかなり高い所もあった。月降水量は少ないから平年並、最上では多い所があった。月間日照時間は平年並から多く、庄内では少ない所があった。

#### 上旬

前線や気圧の谷通過後に冬型の気圧配置となって寒気が流入したため、曇りや雨の日が多く、2日から4日にかけてと9日から10日にかけて、庄内や最上、置賜で大雨となった所があった。また、10日は山沿いで雪が積もり、大井沢で4cm、肘折で1cmの積雪を観測した。

旬平均気温は平年並、庄内で高い所があった。旬降水量は多いから平年並、置賜でかなり多い所があった。月間日照時間はかなり少ない。

#### 中旬

高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、前線や気圧の谷の影響を受ける日もあり、20日は、東北地方を通過した寒冷前線の影響で、庄内を中心に大雨となった。なお、19日は、南から暖かい空気が入ったため気温が高くなり、鶴岡や鼠ヶ関では日最高気温が25℃以上の夏日となった。

旬平均気温は高く、庄内ではかなり高い。旬降水量は少なく、村山、置賜ではかなり少ない所もあった。旬間日照時間はかなり多い。

#### 下旬

前半は高気圧に覆われて晴れる日もあったが、低気圧や気圧の谷通過後に冬型の気圧配置となることが多く、庄内や最上を中心に雨の日が多かった。22日から23日にかけては、東北地方を通過した低気圧の影響により、庄内で大雨となった。また、上空に寒気が入った29日には、山形で初雪（平年より13日遅い）を観測した。

旬平均気温は高い。旬降水量は少ないから平年並。旬間日照時間は平年並から少なく、最上では多い所があった。

## 2 日々の気圧配置（2020年11月）

- 1日：高気圧が日本の東にあって東に移動する。一方、気圧の谷が日本海にあって東へ進む。
- 2日：低気圧がサハリン付近にあり、日本海にのびる寒冷前線が東北地方を通過する。
- 3日：日本付近は西高東低の冬型の気圧配置となる。
- 4日：引き続き、北日本は冬型の気圧配置となる。
- 5日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 6日：引き続き、本州付近は高気圧に覆われる。
- 7日：前線が千島近海から日本海にのび、北日本は気圧の谷となる。
- 8日：気圧の谷が東北地方を通過する。
- 9日：日本付近は冬型の気圧配置となる。
- 10日：引き続き、北日本は冬型の気圧配置となる。
- 11日：引き続き、北日本は冬型の気圧配置となる。一方、本州付近は次第に高気圧に覆われる。
- 12日：日本付近は高気圧に覆われる。
- 13日：低気圧が沿海州にあって東へ進み、日本海にのびる寒冷前線が東北地方を通過する。
- 14日：北日本は冬型の気圧配置となる。一方、本州付近は次第に高気圧に覆われる。
- 15日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 16日：気圧の谷が北日本を通過する。
- 17日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 18日：引き続き、本州付近は高気圧に覆われる。
- 19日：引き続き、本州付近は高気圧に覆われる。一方、低気圧が中国東北区にあって東へ進む。
- 20日：低気圧が北海道付近にあって東北東へ進み、寒冷前線が東北地方を通過する。
- 21日：東北地方は気圧の谷通過後、高気圧に覆われる。
- 22日：本州付近は高気圧に覆われる。一方、低気圧が日本海にあって東へ進み東北地方を通過する。
- 23日：日本付近は冬型の気圧配置となる。
- 24日：北日本は冬型の気圧配置となる。一方、大陸の高気圧が本州付近に張り出す。
- 25日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 26日：北日本は気圧の谷通過後、冬型の気圧配置に変わる。
- 27日：東北地方は高気圧に覆われる。一方、低気圧が山陰沖にあって東北東へ進む。
- 28日：日本付近は冬型の気圧配置となる。
- 29日：北日本は冬型の気圧配置となる。一方、低気圧が日本海にあってゆっくり東へ進む。
- 30日：日本付近は弱い冬型の気圧配置となる。

### 3 気候統計値（2020年11月）

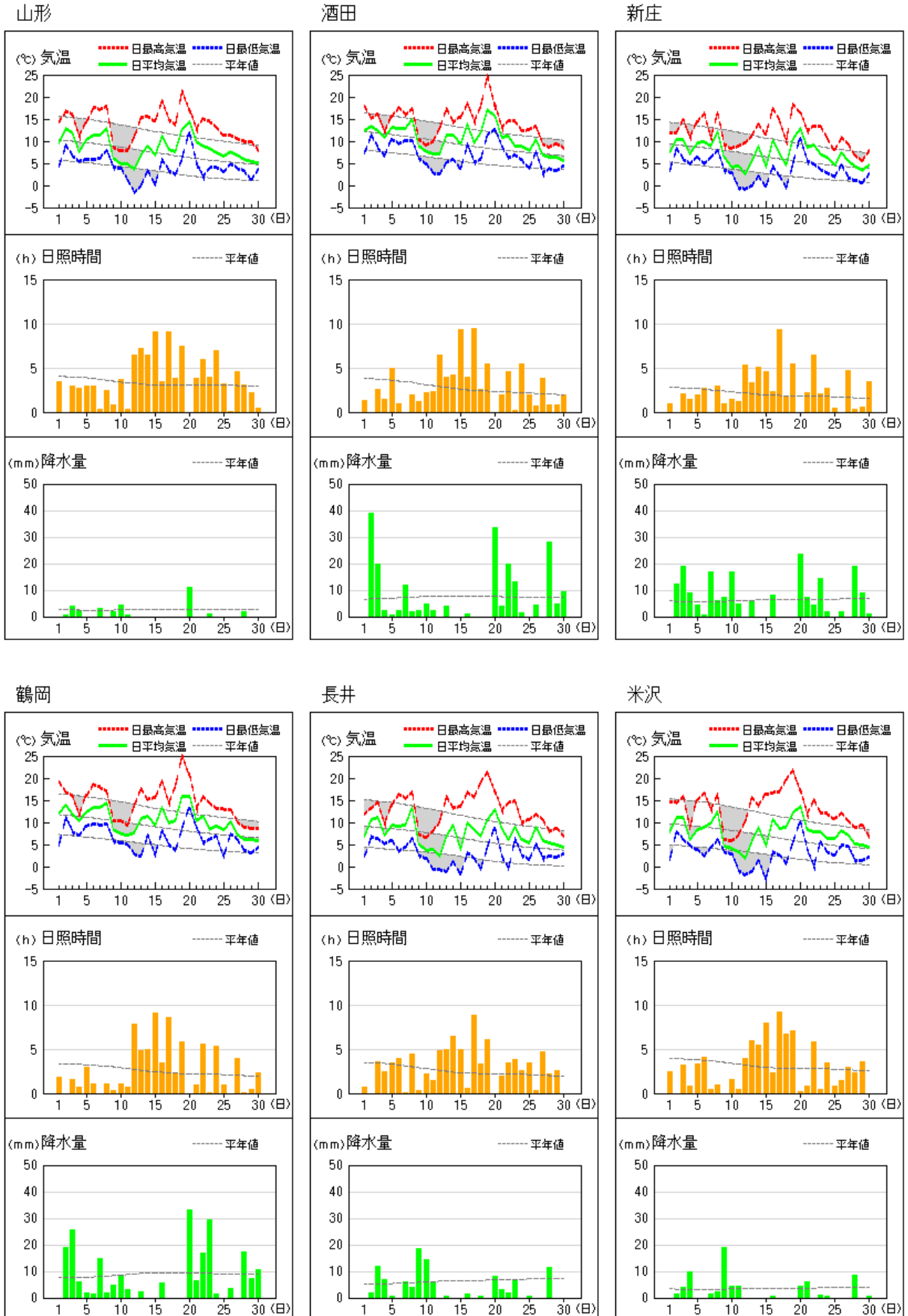
		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本年	平年差 （℃）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	9.9	+0.4	平年並	16.5	67	平年並	22.2	57	かなり少ない
	中旬	8.5	+1.2	高い	11.5	40	少ない	53.4	186	かなり多い
	下旬	7.2	+1.8	高い	3.0	10	かなり少ない	34.2	109	平年並
	月	8.6	+1.2	高い	31.0	37	かなり少ない	109.8	111	多い
酒田	上旬	11.9	+0.5	平年並	86.0	122	多い	16.6	45	かなり少ない
	中旬	11.5	+2.4	かなり高い	41.0	50	少ない	47.6	200	かなり多い
	下旬	8.3	+0.9	高い	85.5	117	平年並	22.3	104	平年並
	月	10.6	+1.3	高い	212.5	94	平年並	86.5	106	平年並
新庄	上旬	8.7	+0.1	平年並	93.0	164	多い	14.5	53	かなり少ない
	中旬	7.1	+0.8	高い	42.5	63	少ない	38.3	219	かなり多い
	下旬	6.1	+1.6	高い	59.5	90	平年並	23.1	131	多い
	月	7.3	+0.9	高い	195.0	103	平年並	75.9	122	かなり多い
米沢	上旬	8.5	-0.5	低い	43.0	130	多い	16.9	44	かなり少ない
	中旬	7.9	+1.1	高い	9.5)	25	かなり少ない	49.2)	180	かなり多い
	下旬	6.7	+2.0	高い	16.5	41	少ない	21.7	79	少ない
	月	7.7	+0.9	高い	69.0)	62	かなり少ない	87.8)	95	平年並

注】次の表示の場合 X:欠測 ) : 準正常値 ] : 資料不足値 - : 現象なし。

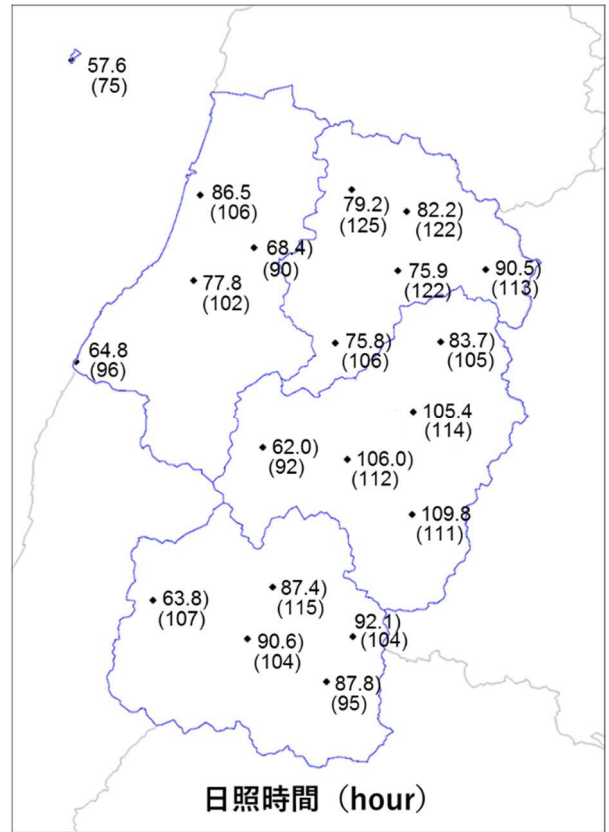
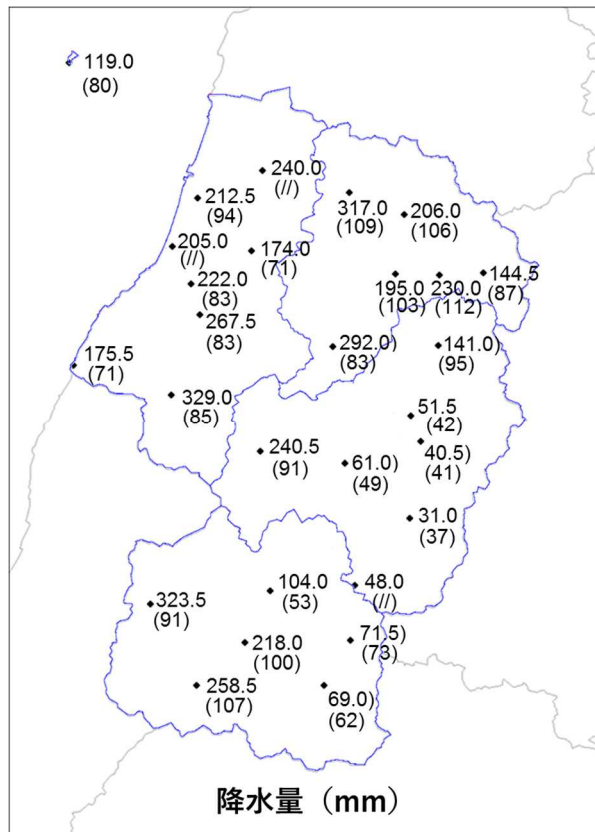
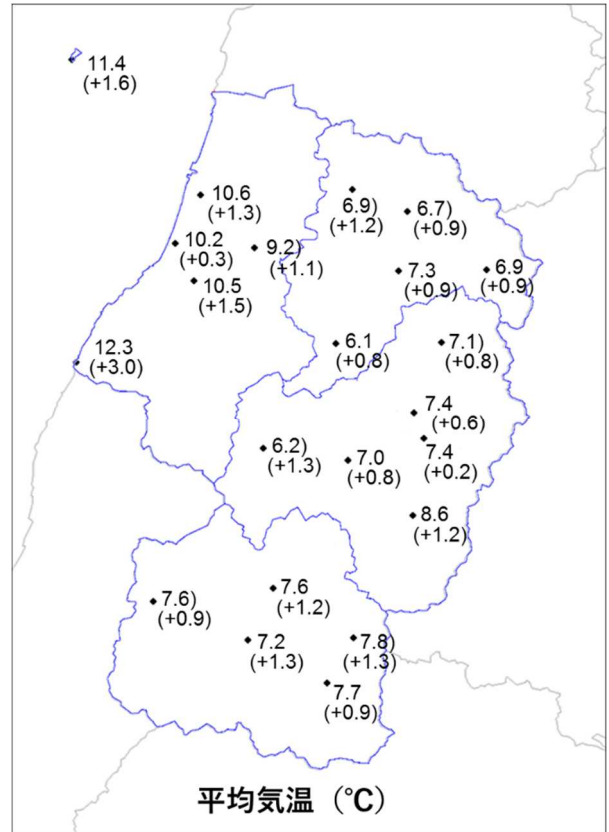
平年値は1981～2010年の平均値。

## 4 気象経過図（2020年11月）

アメダス 気象経過図：2020年11月01日-2020年11月30日



## 5 気象分布図（2020年11月）



注】 ) は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の ( ) 内は平年差 (°C)、降水量の ( ) 内は平年比 (%)、日照時間の ( ) 内は平年比 (%) を示す。  
平年値は1981~2010年の平均値。

## 6 極値・順位値更新表 (2020年11月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄)11月として第1位～3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日最高気温の高い方から (℃)	酒田	24.8	1	11月19日	1937年

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く):11月として第1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日最大1時間降水量 (mm)	狩川	18.0	1	11月20日	1976年
日最高気温の高い方から (℃)	浜中	24.3	1	11月19日	2003年
日最高気温の高い方から (℃)	鶴岡	25.2	1	11月19日	1977年
日最高気温の高い方から (℃)	鼠ヶ関	25.4	1	11月19日	1977年
月平均気温の高い方から (℃)	鼠ヶ関	12.3	1	—	1977年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

## 7 その他

### ・生物季節観測

気象庁では、全国の気象官署で統一した基準により「うめ」・「さくら」の開花した日、「かえで」・「いちょう」が紅(黄)葉した日などの植物季節観測や、「うぐいす」・「あぶらぜみ」の鳴き声を初めて聞いた日、「つばめ」・「ほたる」を初めて見た日などの動物季節観測を行っています。

【生物季節観測】(2020年11月)

種目	現象	2020年	平年	平年との差	2019年	昨年との差	観測した場所
いちょう	黄葉	11月18日	11月4日	14日遅い	11月26日	8日早い	熊野神社*
いちょう	落葉	11月22日	11月17日	5日遅い	12月3日	11日早い	熊野神社*
かえで	紅葉	11月25日	11月20日	5日遅い	12月4日	9日早い	気象台構内

2020年の生物季節観測の状況は山形地方気象台のホームページでご覧いただけます。 ※山形市六日町  
[https://www.jma-net.go.jp/yamagata/seibutu/seibutu\\_thisyear.html#seibutu](https://www.jma-net.go.jp/yamagata/seibutu/seibutu_thisyear.html#seibutu)

### ・季節現象観測

気象庁では、雪、霜、結氷、冠雪の観測を行っています。これを季節現象観測といい、前の年の8月から該当する年の7月までの時期を「寒候年」として、観測および統計を行っています。

寒候年で初めて現象を観測した日を「初冠雪」「初霜」などとして発表しています。

【霜・結氷・雪】(2020年11月)

現象	2021寒候年	平年	平年との差	2020寒候年	昨年との差
初霜	11月12日	10月30日	13日遅い	11月7日	5日遅い
初氷	11月12日	11月1日	11日遅い	11月7日	5日遅い
初雪	11月29日	11月16日	13日遅い	11月20日	9日遅い

※初霜、初氷、初雪とは、気象台構内で初めてその現象を観測した日

【初冠雪】（2020年11月）

対象の山	2021 寒候年	平年	平年との差	2020 寒候年	昨年との差
雁戸山	11月5日	10月29日	7日遅い	11月8日	3日早い
瀧山	11月4日	10月30日	5日遅い	11月15日	11日早い

※初冠雪とは、観測対象の山で気象台から初めて山頂付近で積雪している様子を観測した日  
2021 寒候年の季節現象観測の状況は山形地方気象台のホームページでご覧いただけます。

[https://www.jma-net.go.jp/yamagata/seibutu/seibutu\\_thisyear.html#kankouki](https://www.jma-net.go.jp/yamagata/seibutu/seibutu_thisyear.html#kankouki)